

# 東北関東大震災 市長メッセージ

この度の東北関東大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。被災者の皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

佐野市でも、地震直後から、市内ほとんどの地域で長時間の停電が起きたほか、断水、建物損壊などの被害が発生しました。市民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、皆様の冷静な対応により、大きな混乱が起きなかったことに、心から感謝申し上げます。

市では、今後も、生活基盤の回復に最大限努力いたします。また、被災地の皆様への支援を積極的に進めてまいります。



なお、今後、各種イベントを中止・延期したり、市有施設の利用を制限させていただく場合がございますが、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、今回、農畜産物から放射性物質が検出されたことにつきましては、市民の皆様も、風評に惑わされず、冷静な対応をとっていただくよう、お願いいたします。

佐野市長 岡部正英

## 東北関東大震災の対応状況について（概要）

- 地震発生時刻 平成23年3月11日（金）午後2時46分
- 市内最大震度 震度5強（佐野市高砂町）

### ■佐野市の対応

日付	対応状況
3月11日（金）	●第1回・第2回災害対策本部会議（被害状況調査、避難所開設について他） ●避難所開設（市内全小中学校および佐野駅帰宅困難者にばるぼーとを避難所として開設。夜には避難所を植野地区公民館・ばるぼーとなど5カ所に集約。避難者数は最大で181人）
12日（土）	●第3回災害対策本部会議（生活弱者の安否確認について他） ●震災関係ホームページの開設
14日（月）	●第4回災害対策本部会議（計画停電の実施について他） ●計画停電周知対応（ケーブルテレビ、ホームページ、防災無線、広報車など） ●救援物資を輸送（茨城県水戸市、ひたちなか市、茨城町） ●罹災証明書の発行（各総合窓口課）
15日（火）	●地震に伴うごみ・ガレキなどの受け入れ開始 ●募金・義援金募集開始
16日（水）	●第5回災害対策本部会議（避難者・救援物資の受け入れについて他）
17日（木）	●避難者受入受付窓口設置（災害対策本部内） ●臨時避難所（みかもリフレッシュセンター）受け入れ開始
18日（金）	●第6回災害対策本部会議（避難者・救援物資の受け入れ対応について他）
19日（土）	●避難所等ボランティアの募集開始
21日（月）	●各老人センター（茂呂山・田之入・田沼・葛生あくど）を市指定避難所として受け入れ開始
22日（火）	●第7回災害対策本部会議（避難者支援について他）

### ■佐野市内の被害状況

被害	件数	被害内容
住宅等一部損壊	150件	公共施設35件、一般住宅115件
道路・水道関係被害	14件	地面亀裂・地盤沈下9件、水道管破裂・水漏れ5件
人的被害	3件	重傷1件（大腿骨骨折）、軽傷2件
その他報告	多数	電車運休、ブロック塀破損、照明落下、墓石倒壊など

### 佐野市災害対策本部

佐野市高砂町2794-1 まちなか活性化ビル「佐野未来館」2階

☎ (27) 3011 ☎ (22) 8831

## 各庁舎に募金箱を設置

市では、東北関東大震災の被災地に対する支援を行うため、募金を募集しています。ぜひご協力ください。

〔募金箱設置場所〕

佐野総合窓口課、田沼総合窓口課、葛生総合窓口課

■問合せ 政策調整課 ☎(20)3000





# 茨城県へ 救援物資を輸送

3月14日、佐野市は東北関東大震災で被災した茨城県水戸市・ひたちなか市・茨城町への物資支援を行いました。これは、北関東・新潟地域連携軸推進協議会における「災害時における相互応援に関する要綱」に基づいたもので、被災した各市町からの要請に応じる形で左の物資を搬送しました。

## ▶被災地へ搬送した物資

- ・アンパン900個
- ・毛布200枚
- ・水(2ℓ)600本
- ・大福300個
- ・饅頭100個
- ・焼き菓子2箱

## 広がる「支援」の輪

### 佐野ブランド大使 ダイヤモンド☆ユカイさんが募金活動

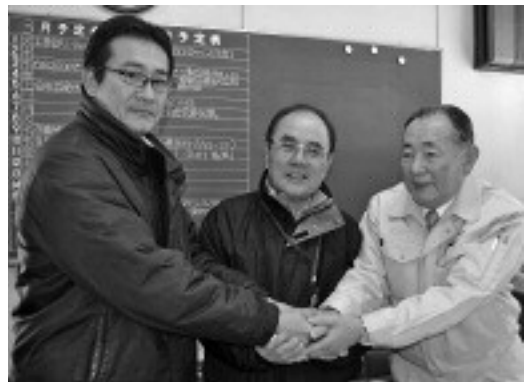


◀岡部市長も駆けつけました

3月19日、佐野駅前交流プラザ「ぱるぼーと」前で、「佐野ブランド大使」のダイヤモンド☆ユカイさんが募金活動を行いました。ユカイさんは、「一人の力では小さくても、みんなが一つになれば、大きな愛となって被災地の人に届くと思う」と語り、被災地への募金を呼びかけました。

ユカイさんは20日も、道の駅どまんかたぬまで募金を呼びかけました。ユカイさん、また募金に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

### 募金および避難者受け入れ ～犬伏下町の井口さん～



◀握手を交わす井口さん親子と岡部市長

犬伏下町にお住まいの会社役員、井口幸夫さん・隆晴さん親子は、3月18日、東北関東大震災の被災地に対する募金として、市に100万円を寄付されました。

また、会社の寮に避難者15人を受け入れられてもいます。19日には、岡部市長が井口さんの会社を訪問し、感謝の意を伝えました。

今回、佐野市で地震に遭われた神奈川県の方から、佐野市の対応について、温かいお礼の言葉を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

### 佐野市職員の皆様、佐野市民の皆様

私は大地震の発生した11日、たまたま佐野市に居合わせた、神奈川在住の嶋田と申します。一言、お礼申し上げたくメールをさせて頂きました。

大地震当日、あらゆる交通手段が断絶して途方にくれ、佐野駅のぱるぼーとにありました。その折、水や非常食の配給をはじめ、毛布やストーブのお手配など、温かいご支援をいただきました。正直、外部との電話連絡すら叶わない心細い状況で、職員の皆様の情けにどんなに救われたことか、文字に表せないほどでございます。また、近隣にお住まいの方からスープなどの差し入れなど、市民の方のご恩にもお礼申し上げたく存じます。

未曾有の大災害で、佐野市の皆様の被害もすくなくならず、とお察しします。皆様が早く日常生活に戻れますよう、ご祈願申し上げます。 嶋田